

2015-16年度国際ロータリー第2650地区方針について

国際ロータリー第 2650 地区

2015-16 年度ガバナー

中澤 忠嗣

2015-16年度、伝統ある国際ロータリー第2650地区のガバナーを務めさせていただきます、京都南ロータリークラブの中澤忠嗣でございます。

私にはとても重い責務を負うことになりましたが、与えられた役目を全うできるよう精進してまいります。パストガバナーの皆様方のご指導と、当地区すべてのロータリークラブ並びにロータリアン皆様の力強いご支援とご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2015-16年国際ロータリー K.R.ラビンドラン会長は、「世界へのプレゼントになろう(Be a gift to the world)」をテーマにされました。

「私たちロータリアンは、才能、知能、能力、努力、そして献身と熱意など、私たちが持っているすべてを、ロータリーを通じて世界にプレゼントすることで、世界に真の変化を起こすことができるはずです」と述べておられます。

1905年、シカゴロータリークラブが誕生してから今日まで、志を同じくするクラブが世界各地に生まれ、それぞれ多方面にわたって多大な貢献をしつつ、110年の歴史を重ねました。

国際ロータリー(RI)は、世界のロータリークラブの連合体で、各地のロータリークラブが奉仕活動を存分に行えるように、サポートすることを目的としています。

主役はあくまでも各地のロータリークラブとロータリアンです。地区もゾーンもRIも、各地のロータリアンの最前線での奉仕活動を支える役割を担っている存在です。

その主役である各地域ロータリーが、地域で充実した奉仕活動を行うためには、まずクラブそのものが充実していなければなりません。RIがロータリークラブ組織の維持・拡大に、多大な努力を重ねてきたのは、まさにそのためであるといつて過言ではありません。

そして、RI会長の年度テーマは、世界各地のロータリークラブの活動を見守り支える最終責任者としての、信念の発露といつてよいでしょう。

であればこそ、私はこのテーマをしっかりと受け止めて、日々の活動の規範とし、同時に2015-16年度、国際ロータリー第2650地区のスローガンを、次のように決めさせていただきました。

『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

時代の変遷に即した組織を作り、地域の特性に応じた奉仕活動が行える、柔軟で活き活きたクラブこそが、魅力溢れるクラブであり、そこには人が集まってくるでしょう。

地区は各ロータリークラブの皆さまとともに、次の3つのことを実践して、各クラブがより個性に満ちて輝き、魅力あふれる憧れのロータリークラブになるよう、最大限の支援をいたします。

① クラブの主体性を第一に

地区組織の最重要課題は、各クラブが充実するためのサポート活動です。クラブと語り合い、各クラブ単独もしくは合同による、地域のニーズに合ったロータリーらしい奉仕活動が推進できるよう、側面から支援いたします。

② クラブの「個性」を明確に

変わっていくもの、変わらないもの、変えなければならぬもの、変えてはいけないものを、良く見極めて、自分たちのクラブらしさを創造しましょう。

時代に求められる「個性」は人を惹き付けます。個性豊かなクラブを目指し、クラブの魅力を増して、会員増強を。

③ 「憧れ」のロータリークラブを目指しましょう

かつてロータリークラブは、地域社会にとって今よりももっと「憧れ」の存在であり、その活動は共感できる魅力あるものでした。そして入会したくても簡単には入会できない。それがロータリークラブでした。

ロータリーは自分の意思で参加する「クラブ」です。誰かに強制されるのではなく、自分の気持ちで、「わくわく」して出かけるのがクラブ例会です。

楽しいロータリー。賑やかなロータリー。憧れのロータリー。

そのようなクラブになるよう、磨いてください、艶を出してください。

あなたの手で。

もっと「個性」に満ちた、もっと輝かしい「憧れ」のロータリークラブを創りましょう。RIの基本理念を踏まえて、クラブ独自の戦略計画を立案し、実践していきましょう。

その目標に向かって、クラブとガバナーはより緊密に語り合い、コミュニケーションをより一層強化しようではありませんか。